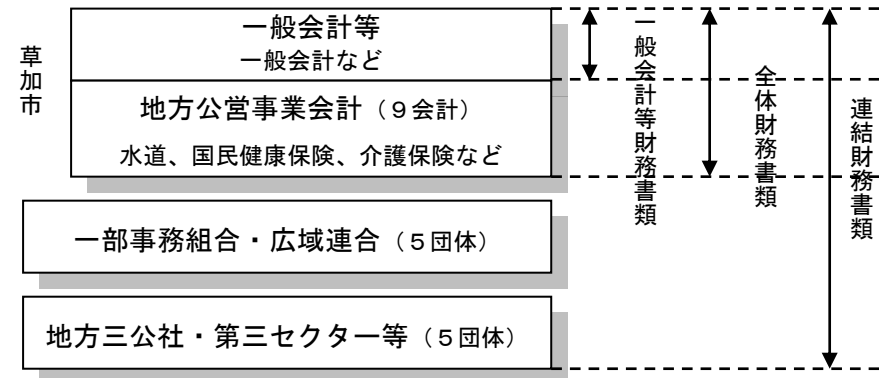


# 連結財務書類4表からみた草加市の財政

草加市では、財政状況をより正しく把握するために統一的な基準に基づいて連結財務書類4表を作成しています。行政改革を推進し、健全な財政運営を行うための分析に活用していきます。

## 連結財務書類4表とは？



財務書類とは、民間企業の考え方を基に作成した市の決算書です。財務書類にはいくつかの作成方法がありますが、草加市では「統一的な基準」という作成方法に基づいています。

財務書類は左図のように3つに分けられます。連結財務書類では市だけでなく出資法人などの関係団体も含まれます。

財務書類4表とは貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を指します。

## 行政コスト計算書とは？

平成30年度連結行政コスト計算書  
単位：百万円

	金額
経常費用	144,684
業務費用	53,200
人件費	17,124
物件費等	33,404
その他の業務費用	2,672
移転費用	91,484
補助金等	20,778
社会保障給付	67,316
その他	3,390
経常収益	22,921
使用料及び手数料	14,810
その他	8,111
純経常行政コスト	121,763
臨時損失	341
臨時利益	9
純行政コスト	122,095

行政コスト計算書には、平成30年度に草加市と関係団体がサービスを提供するために費やしたヒト・モノ・カネの金額が載っています。経常収益には公営住宅の家賃などサービスの対価だけが計上され、税金は計上されません。

- 人件費：職員の給料、平成30年度に増えた退職金の金額など
- 物件費等：消耗品の購入費、臨時職員の人件費や委託費など
- 移転費用：福祉関係の給付費など

## 純資産変動計算書とは？

純資産変動計算書は、1年間に純資産がどのように増減したかを示しています。

平成30年度連結純資産変動計算書  
単位：百万円

	金額
前年度末純資産残高	233,923
純行政コスト	△ 122,095
財源	123,802
税収等	79,294
国県等補助金	44,509
資産評価差額	△ 279
無償所管換等	8
比例連結割合変更に伴う差額	△ 398
その他	△ 18
本年度末純資産残高	234,943

## 資金収支計算書とは？

資金収支計算書は、現金の流れを示しています。

平成30年度連結資金収支計算書  
単位：百万円

	金額
業務活動収支	6,163
投資活動収支	△ 6,184
財務活動収支	△ 411
当期収支	△ 432
前年度末資金残高	15,250
経費負担割合変更に伴う差額	8
本年度末資金残高	14,826
(基礎的財政収支)	
業務活動収支	6,163
支払利息支出	474
投資活動収支	△ 6,184
基金積立金支出	1,266
基金取崩収入	1,034
基礎的財政収支	685

## 貸借対照表とは？

貸借対照表はどれほどの資産や負債を持っているかを示すものです。草加市ではこの1年間でやや負債を増やしているものの、資産も増やしており、市民の皆さんに行政サービスを提供するための「もの」を増やしています。

連結貸借対照表  
単位：百万円

	資産の部			負債の部			
	29年度	30年度	差額	29年度	30年度	差額	
固定資産	302,958	304,278	1,320	固定負債	87,074	84,843	△ 2,231
有形固定資産	273,265	274,527	1,262	地方債等	65,125	64,124	△ 1,001
無形固定資産	37	31	△ 6	退職手当引当金	8,098	7,123	△ 975
投資その他の資産	29,656	29,720	64	その他	13,851	13,596	△ 255
投資及び出資金	11,892	11,892	0	流動負債	10,556	17,714	7,158
基金	13,868	14,452	584	1年内償還予定地方債等	6,415	6,868	453
その他	3,896	3,376	△ 520	その他	4,141	10,846	6,705
流動資産	28,594	33,222	4,628	負債合計	97,630	102,557	4,927
現金預金	15,323	20,996	5,673	純資産の部			
未収金	4,333	3,656	△ 677	純資産合計	233,923	234,943	1,020
その他	8,938	8,570	△ 368	負債及び純資産合計	331,553	337,500	5,948
資産合計	331,552	337,500	5,948				

注：道路や公園、学校など、基金(貯金)など、手持ちの現金など、行政サービスを提供するための「もの」の注釈は、それぞれ該当する資産項目に付随して記載されています。

## 草加市の特徴は（一般会計等）？

草加市は、資産と純資産が大きいことがわかります。草加市は将来世代に過度な支払義務（負債）を残さずに、社会資本（資産）を充実させていることが特徴と言えます。

## 地方債残高の推移はどうか？

単位：百万円

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地方債	57,809	58,353	58,402

負債の大部分を占める地方債残高はやや増加しています。

一人当たり純行政コスト（一般会計等）＝24.1万円

## 連結するとどうなる？

貸借対照表  
単位：百万円

	一般会計等	地方公営事業	第三セクター等
有形固定資産	219,865	261,723	274,527
資産合計	260,593	317,530	337,500
負債合計	68,733	95,739	102,557
純資産合計	191,860	221,791	234,943

行政コスト計算書  
単位：百万円

	一般会計等	地方公営事業	第三セクター等
業務費用	25,342	44,553	53,200
移転費用	37,495	69,125	91,484
経常費用	62,837	113,678	144,684

貸借対照表、行政コスト計算書において、連結してもあまり影響がないことがわかります。特に第三セクター等は草加市の外にある関係団体などです。市によってはこのような第三セクター等の負債が大きく、市民の負担になる可能性が高まっていることが問題となっています。草加市の場合はこのような問題はないと言えます。

地方公営事業を連結しても負債はそれほど増えていないことがわかります。これは下水道会計が企業会計に移行するまで連結の対象に含まれないため、負債の規模は実際にはもっと大きい可能性があります。